

地域の安全・安心に向けた新たなる第一歩 ～広島土砂災害を教訓に～

入場無料

2014年の広島土砂災害では甚大な被害が発生しましたが、全国の土砂災害危険箇所は約53万箇所にのぼります。多様で頻発する災害に加え人口減少社会の到来などを鑑みると、あらためて広島土砂災害を検証し、効果的な防災・減災に向けた取り組みを次世代に引き継ぐことが重要となります。ここで広島土砂災害の報告書をまとめたメンバーを中心に、土木学会全国大会2015のテーマ「地域とともに確かな未来を築く」ためのメッセージを伝えます。

日時・場所

平成27年9月16日(水) 10:00～12:00
岡山大学創立50周年記念館金光ホール
定員：300名 (岡山市北区津島中3-1-1)



プログラム

あいさつ 土木学会全国大会副委員長・岡山大学 前野 詩朗 氏
報告 2014年広島土砂災害の概要と中国地方整備局の取り組み
中国地方整備局 河川部長 渡邊 泰也 氏

パネルディスカッション 急激な気候変動にともなう豪雨による土砂災害にいかにかそなえるか？

1. 災害をもたらした豪雨の特徴と今後の課題 広島工業大学 田中 健路 氏
近年、バックビルディング型の線状降水帯などによる観測史上最大級の豪雨が頻繁に発生している。豪雨発生に関する気象学的な特徴と土砂災害対策にどのように反映するかについて述べる。
2. 警戒区域指定及び雨量に基づいた警戒・避難システムの検証と課題 広島大学 土田 孝 氏
警戒区域・特別警戒区域の指定、雨量による警戒・避難システムという2つの土砂災害対策について、昨年の災害における検証結果を示し、今後の課題を整理する。
3. 過去の土砂災害との比較と豪雨に対応した新たな雨量指標 呉工業高等専門学校 森脇 武夫 氏
1999年6.29広島災害、2010年庄原災害など過去の土砂災害と比較し、大規模土砂災害の発生メカニズムについて検討結果を紹介する。また、新たな雨量指標の必要性とその適用可能性を紹介する。
4. 都市計画の観点から見た2014年広島災害 広島大学 藤原 章正 氏
日本都市計画学会「広島豪雨災害・防災まちづくり検証特別委員会」の検討成果に基づき、広島市における都市開発の経緯と土砂災害被害の関係、および関係法制度の課題について整理する
5. 土砂災害の災害履歴の調査技術と防災対策への適用可能性 山口大学 鈴木 素之 氏
危険渓流の土石流堆積物の組成・構造・年代測定結果に基づいて、過去1000年間程度の土石流の発生履歴を調査する技術の現状と、昨年の広島災害ならびに2009年防府災害の被災地への適用事例を紹介する。
また、地域に残る史料もふまえて試作した『土砂災害発生年表』について紹介する。



土木学会継続教育認定プログラム

※建設系CPD協議会に加盟している団体の一部には、ポイントの相互承認制度がありますので、各団体へお問い合わせ頂くか、建設系CPD協議会へお問い合わせください。

《主催・申込先・問合先》 公益社団法人土木学会中国支部 TEL(082)222-2376

FAX (082) 222-2496 E-mail:jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp

下記をご記入の上、FAX またはメールにてお申込ください。

Webからも、申込み可能 <http://committees.jsce.or.jp/chugoku/node/83>

当日参加可(ただし、会場が満員の場合はお断りする場合がありますので、できるだけ事前にお申し込み下さい。)

※頂きました個人情報はこの講演会のみ使用し、法律に基づき適正に管理いたします。



参加申込書	地域の安全・安心に向けた新たなる第一歩 ～広島土砂災害を教訓に～	
氏名 (6名までお書きください)		
所属		
住所		
連絡先	電話:	E-mail